

質問回答

2019年11月25日

「ガーナ国カイゼンを用いた企業振興プロジェクト」

(公示日:2019年11月13日/公示番号:19a00641)について、企画競争説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P.24 (2)連携金融機関の選定	選定する金融機関候補は政府系、民間いずれも対象となりますか？また、金融機関候補の数について目安はございますか？	政府系・民間いずれも対象となります。 連携金融機関候補数については「第3 5. (1)」記載の通り、多くの企業(数百家程度)に提供可能なモデルの構築及び運用することを念頭におき提案ください。
2	P.24 (5)連携モデルのパイロット運用	「複数モデル」とは例えば情報収集・確認調査で示されている方策の組み合わせを変更して運用するイメージでしょうか？	p.23「第3 6. <成果 2 関連>(1)」記載の通り、情報収集・確認調査を参考にしつつ、複数のモデル案を検討し、パイロット運用で実践することを想定しています。
3	(p.17)5. 実施方針及び留意事項 (3)長期専門家との役割分担・協働	「成果1・2と成果3はそれぞれ補完できる活動内容もあると想定されるため、コンサルタントと長期専門家は密に情報共有しプロジェクトを運営する」と記載があるが、長期専門家の派遣開始・終了時期は、本プロジェクトの実施期間と同期すると理解してよいか。	長期専門家の派遣開始・終了時期は、本プロジェクトの実施機関と同期します。
4	(p.21)6. 業務の内容 (4)BDS 提供モデル案の検討	①に記述の CoTVET が「技術訓練及び職業訓練の提供及び技術者の認証を行っている」とのことだが、当該機関は技術者だけではなく、技術訓練・研修提供機関の認証も既に行っているか。	CoTVET は技術者だけでなく、技術訓練・研修提供機関の認証も既に行っています。

5	(p.23)6. 業務の内容 (8)カイゼンの全国展開	②「他ドナー(REP 等)の活動との相乗効果が図れるよう助言」かつ「カイゼン普及展開活動のための予算提供等の支援が行われている」との記載があるが、カイゼン普及展開における費用(BRC/BAC のトレーナー渡航費、研修会場費等)は REP の資金支援でどの範囲まで賄われる予定か。	カイゼン普及展開における費用のうち以下の費用については REP から提供される予定です。 ・トレーニングマテリアル作成に係る費用 ・カイゼン提供先企業までの渡航費 日本人専門家は助言のみを行うことを想定しており、その他の費用も見積に含める必要はありません。
6	p.16 5. (1)プロジェクトの全体像	多くの企業(数百社程度)に提供可能なモデルの構築を目指す、との記載があります。本案件で支援対象とする企業の規模・業種の想定についてご教示下さい。	本案件における裨益企業は下記 2 種類が想定されます。 ①OJT 企業:「第3 6. <成果 1 関連>(7)」記載の通り、プロジェクト開始後に C/P と協議のうえ、関連する政府のプログラム及びPRの観点等を留意しつつ、企業の規模・業種を特定し、選定することを想定しています。 ②パイロット運用対象企業:規模・業種の指定は特にありませんが、上記同様に C/P と協議のうえ企業を選定することを想定しています。
7	p.18 (5) ①アフリカカイゼン年次会合	アフリカカイゼン年次会合への毎年 6 名の派遣に関して、どのように見積もれば宜しいでしょうか(派遣回数:3 回あるいは 4 回、渡航先及び航空券の搭乗クラス、海外旅行保険、日当・宿泊費の日数など)?また開催月(あるいは実施時期)、ホスト国となる年が決まる時期(例 2 年前)の目安を可能な範囲でご教示ください。	・派遣回数は 4 回を想定しています。 ・積算に際しては航空券、海外旅行保険、日当・宿泊含め、1 回あたり 300 万円とし、4 回分で合計 1200 万円を計上ください。実施段階において当該経費を上回る必要が発生した場合は必要に応じて契約変更により対応します。 ・開催予定月は 6 月～9 月です。 ・会合ホスト国については、会合開催の 10 カ月前までに決定される予定です。

8	<p>p.20 (2)ベースライン調査・エンドライン調査の実施</p> <p>p.21 (2)対象地域におけるBDSニーズ調査・BDS 提供メニューの検討</p>	<p>-調査の対象として示されている「全対象機関・対象者」とは、C/P 機関(技術移転対象の60人を含む)や支援対象企業を含め、p.17 で示されたプロジェクト概念図に上げられたような組織全て、という理解でよろしいでしょうか。</p> <p>-支援対象企業のベースライン・エンドライン調査に関して、比較用の対象群も調査に含めるという理解でよろしいでしょうか？</p> <p>-貴機構の想定では、BDS 提供に必要な情報に関する調査は、ベースライン調査・エンドライン調査の構成要素でしょうか、あるいは別調査でしょうか。</p>	<p>・「全対象機関・対象者」は、C/P 機関や支援対象企業を含め、プロジェクト概念図(p17)で示された組織全てを想定しています。</p> <p>・比較用の対象群の調査は必須とはしません。比較対象群の調査を行う必要性が発生する場合には必要に応じて契約変更を行い対応します。</p> <p>・BDS 提供に必要な情報についての調査は、ベースライン調査・エンドライン調査に含まれると想定しています。</p>
9	<p>p.20 (3)カウンターパート研修</p>	<p>-貴機構が想定しているカウンターパート研修の実施期間(日数)をご教示ください。</p> <p>-再委託とする場合に、諸謝金等の見積単価は「コンサルタント等契約における研修・招へい実施ガイドライン」に記載のものを使用する理解でよろしいでしょうか？あるいは異なる単価を用いて算出された見積でも構わないでしょうか？</p>	<p>・カウンターパート研修実施期間は14日間を想定しています。</p> <p>・再委託とする場合、謝金等の見積単価は原則として「コンサルタント等契約における研修・招へい実施ガイドライン」に記載のものを使用してください。</p>
10	<p>p.20 3行目</p> <p>p.21 (4) BDS 提供モデルの検討</p> <p>p.22 (7) BRC/BAC 職員に対する研修の実施</p>	<p>パイロット運用は、p.21、p.22 に記載されたとおり、各成果それぞれ5回以上、との理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>・成果1・成果2それぞれ、5年間で5回以上パイロット運用することを想定しています。</p>
11	<p>p.21 (4)BDS 提供モデルの検討</p> <p>p.22 (5) BDS 提供のワークフローの整備</p>	<p>貴機構の想定するBDS 提供モデルとBDS 提供ワークフローの関係性を可能な範囲でご教示ください(BDS 提供ワークフローは、BDS 提供モデルの実施フローを指すとの理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>BDS 提供モデルには「第3 6. <成果1 関連> (4)」記載の通り、NBSSI のデータベースへのBDS 提供者の情報管理から、BDS 提供者による企業診断の実施及び必要なBDS の提供、BDS 提供に</p>

		か)。	係る料金の受け渡し、モニタリングによる BDS 提供内容・方法の見直しまでの一連の流れが含まれることを想定しています。 BDS 提供ワークフローは、上記モデルを運用する上で必要な BDS 提供者の作業手順を指します。
12	p.22 (8)カイゼンの全国展開	<p>ガーナ政府が想定する、本プロジェクト期間中のカイゼン全国展開について、以下 3 点についてご教示ください。</p> <p>(1) 先行案件のカイゼントレーニングにより育成されたカイゼントレーナー (BRC/BAC 職員)のうち、どの Region のカイゼントレーナー (BRC/BAC 職員) がトレーナーを務める予定なのか (本プロジェクトの技術支援対象となる Ashanti 州の BRC/BAC 職員と重複しているのか)</p> <p>(2) カイゼン未展開 6 州の BRC/BAC 職員のトレーニング (座学・OJT) は、本プロジェクト対象 Region 内で実施されるのか、あるいは未展開 Region で実施するのか</p> <p>(3) 未展開地域でのトレーニング実施となる場合、本プロジェクトでトレーナーの交通費、日当・宿泊費等の負担が想定されているのか</p>	<p>「第3 6. <成果 1 関連>(8)」記載の通り、日本人専門家は NBSSI によるカイゼンの全国展開活動の計画策定や指導内容・方法に対して助言することを想定しています。</p> <p>したがって、トレーナーの選定やトレーニングの実施場所については NBSSI の計画に沿って進めることとし、トレーナーの交通費、日当・宿泊費等を本プロジェクトで負担することも想定していません。</p>
13	p.27 3.対象国の便宜供与	プロジェクト事務所の設置はアクラ 1 か所との理解でよろしいでしょうか？あるいはクマシでの設置も想定されているかご教示下さい。	・アクラ 1 か所を想定しています。
14	①アフリカカイゼン年次会合 本案件の積算においては、同会合へ毎年 6 名 (C/P、専門家、	・開催国が未定のため派遣費 (旅費) が流動的であることから、本見積ではなく、別見積もりに含めることでよいか？	<p>・アフリカカイゼン年次会合への参加者派遣に係る積算は回答 7 を参照ください。</p> <p>・同会合開催費用は第 1 期に積算してください。</p>

	<p>アワード発表企業)派遣することを想定すること。また、本案件期間中に、同会合の開催国となることを想定し、会合開催に係る費用(人件費、会場費、会場機材費、登壇者渡航費(6名分)、現地事務要員備上費等)も積算に含めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会合参加は4回(開催国の一回は外数)の理解でよいのか? ・同会合の開催国は第1期、第2期のどちらに開催費用を積算すればよいのか? ・参加者数はどのように想定すればよいのか? ・事務局補助の日本人専門家およびローカル人材の件費は本プロジェクトの外枠で理解してよいのか? 	<ul style="list-style-type: none"> ・同会合ガーナ開催に係る費用は人件費を除き、計1300万円(会場費、会場機材費、登壇者渡航費、現地事務要員備上費等含む)で計上ください。 ・同会合参加者数は150名程度を想定しています。 ・同会合事務局補助の日本人専門家およびローカル人材の件費は本プロジェクトの積算に含めてください。
15	<p>6. 業務の内容 <成果1~3 共通事項> (1) プロジェクトの期分けについて 本案件は第1期(2020年3月~2022年8月)、第2期(2022年9月~2025年2月)に分けて業務を実施する。 第1期では、成果1・成果2において、BDS提供モデル及び金融機関との連携モデル案を検討した上で、それぞれについて、2回以上パイロット運用を実施し、モデル案の見直しを行うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通期で成果1、成果2で5回のパイロット運用で理解してよいのか? ・第1期の2年半においては2回以上のパイロット運用とモデル案の見直しを行うと理解してよいのか? 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果1・成果2それぞれ、5年間で5回以上パイロット運用することを想定しています。 ・ご理解の通り成果1・成果2それぞれ2回以上のパイロット運用とモデル案の見直しを想定しています。
16	<p>(2)ベースライン調査・エンドライン調査の実施 プロジェクトの成果やプロジェ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・統計分析を行う研究者等の助言を踏まえること。とあるが、実施時期には研究者等が確定していると理解してよいのか? 	<ul style="list-style-type: none"> ・「調査の質を保つ」という観点から、調査内容検討にあたり外部有識者から助言を得ていただきたいと考えており、コンサルタントにより同外部有

	<p>クト目標達成状況をモニタリング、評価するため、PDM上の指標を必要に応じて修正し、プロジェクト開始時点のベースライン値及び終了時のエンドラインを調査する。同調査は対象2州の全対象機関・対象者に対して実施する。</p> <p>本調査の実施、及び指標の設定に際しては、調査結果がインパクト評価等に活用されることも想定し、統計分析を行う研究者等の助言を踏まえること。また、成果3の調査の実施、指標の設定については長期専門家と相談のうえ決定すること。</p> <p>本調査は必要に応じて再委託することを可能とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同研究者の傭人および契約は貴機構が行うものとして理解してよいか？ ・また、成果 3 の調査の実施、指標の設定については長期専門家と相談のうえ決定すること。とあるが、業務範囲としては、「指標の設定は長期専門家が行い、決定されるが、コンサルタントは相談に応じる」という認識でよいか？ 	<p>識者の選定及び必要な謝金の支払等を行っていただくようお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インパクト評価を行う場合には、上記有識者とは別途、JICA が研究者の配置にかかる予算措置、必要な手続きを実施します。 ・「指標の設定は長期専門家が行い、決定されるが、コンサルタントは相談に応じる」という認識で間違いありません。
17	<p>(3)カウンターパート研修</p> <p>本案件では、カウンターパート研修として、プロジェクト関係者を対象とした本邦研修を包括して実施する。包括される業務内容については、(中略)に定める「実施業務」を原則とする。</p> <p>研修は協力期間中3回実施することを想定しており、各回10名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料の Tentative Plan of Operation (PO)において本邦研修は 4 回計画されているが、本 PO はタイトルどおり Tentative と読み、P20に記載のある 3 回実施の想定のとおりで計画してよいか？ ・上記の場合、実施時期 3 回は PO 中のどれを用いるのか、想定があればご教示いただきたい（訪問先調整に必要な情報のため）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の通り、配布資料の PO は Tentative と読み、本邦研修は 3 回実施の想定で計画してください。 ・本邦研修実施年度は 2020 年、2021 年、2022 年を想定しています。

	程度を対象とすることを想定する。(以降、省略)		
18	<p><成果1関連> (1)本案件期間中に目指す方向性と成果 成果1においては、NBSSI及びBAC/BRC職員が直接企業に対してBDSを提供できるように能力強化を図るとともに、BDSPを活用したBDSの提供体制を整備することで、総合的な企業支援の窓口としてNBSSI及びBRC/BACの体制を構築し、複数回パイロット運用することを想定している。</p>	<p>・複数回とは5回との理解でよいか？</p>	<p>5年間で5回以上パイロット運用することを想定しています。</p>
19	<p>7. <u>報告書等</u></p>	<p>・成果3に関わる報告書等は、成果3の長期専門家が全てを作成・報告するという理解でよいか？ ・上記に伴い、左記に関わる費用一切を計上しないこととしてよいか？</p>	<p>成果3に係る報告書等は長期専門家が作成・報告します。 ただし、JICAへ提出する報告書は成果1から3の内容を纏めて印刷・製本していただくため、印刷・製本に係る費用は積算に含めてください。</p>
20	<p>3. 対象国の便宜許与 ③事務スペース(アクラ)</p>	<p>・アクラの便宜供与は記載があるが、もう一つの対象地域アシャンティ州クマシにおける便宜供与は何がなされ、見積はどのように対応すればよいか？</p>	<p>事務スペース供与はアクラのみを想定しています。クマシで事務スペースを借りる必要があれば積算に含めてください。</p>

以上